



タクシー政策議員連盟総会 開催 辻元 清美（参議院議員）会長就任

4月28日(金) 8時15分より、参議院議員会館にて立憲民主、国民民主党を中心とした議員で構成されるタクシー政策議員連盟の総会が開催され、前段の役員会で決定した近藤 昭一 衆議院議員(愛知)から辻元 清美 参議院議員(比例)へ会長を交代する役員人事が承認された。

新会長に就任した辻元 議員は「ハイタク労働者の労働環境の改善、とりわけ女性がより一層活躍出来る職場環境づくりのために、これまでの経験を活かしていきたい。」と挨拶で述べた。

また、ハイタクフォーラム代表幹事として、溝上 泰央 全自交労連 中央執行委員長は、挨拶の中で地域公共交通におけるハイタクの存在意義や重要性、現在及び今後への課題について述べた。

今回のタク議連総会は 衆・参 合わせて 46 名もの国会議員が参加をし、総勢100名を超える規模となった。

意見交換の場ではハイタク労働者の多くの仲間がコロナにより離職してしまったことにより、一層深刻化した要員不足や、他産業との賃金格差の問題。また、自動運転技術の進歩がもたらす影響への懸念や、ライドシェア導入を推進する動きが更に活発化しつつある事への警戒など、今まさに我々が直面する数々の課題について認識を共有した。

全自交はこれからもタクシー政策議員連盟の仲間と協調しながら、ハイタクが抱える様々な問題に取り組み、労働者の労働条件改善を果たすことで、ハイタクがこれからも地域公共交通の要であり続けられるよう、全国の仲間と一丸となって闘っていく。